

2024 年度第 7 回理事会議事録

開催日時:令和 6 年 11 月 26 日(火) 16:00~17:00

開催場所:静岡商工会議所 403 会議室および Webex によるハイブリッド会議

出席者:(理事)久保田光二(議長)、鈴木 裕、宇賀田栄次(OL)、小林裕敏、松澤正典、米良直樹(OL)、山本隆秀

委任出席:日詰一幸、稲葉豊穂、齊藤弘幸、漆畑晃司、兼城毅、瀬戸伸亮、村松克己

オブザーバー:(静岡市産業政策課)奥村主事、中村主事

事務局:桜井俊秀

欠席:(監事)上田和博、吉兼正哲(Zoom 接続障害のため)、鈴木佐太郎(以上敬称略)
以上、会議出席者総数:17 名(理事 14 名中委任状を含む出席者 14 名)

1. 開会

- (1) 冒頭、久保田理事長が議長に就任し、開会のあいさつの後に議事に入った。
- (2) 議事録署名人の指名:議長が山本理事および宇賀田理事を指名し、両理事より了承を得た。

2. 議 事

(1) 報告事項

① 事務局報告(以下の項目について事務局長より説明があった。)

- 1) 常葉大学経営学部「IT パスポート試験のご紹介&IT 業界で働く先輩に話を聞こう」(人財開拓推進部会主催)に参加(11/13)
- 2) 「IT パスポート取得講座」オンデマンド化の打合わせのため静岡産業技術専門学校に渡辺部会長と訪問し、担当教諭と打合せ(11/18)
- 3) 理事会用 Zoom アカウント設定完了(11/15) ⇒ 契約手続き未完了のため 12 月 4 日より接続可能

② 運営委員会報告

■人財開拓推進部会:渡辺部会長

- ・他団体(神奈川の情報産業協会など)との交流会
- ・資格取得講座(IT パスポート、基本情報)

時期:2024 年 12 月~3 月

講師:静岡産業技術専門学校

⇒ 「eduleap」というオンデマンド教材を利用

学生向けのチラシは現在作成中

テキストの購入ではなく、受講料(2,000 円)を支払う事で受講可能とする

・業界研究会

6/19 静岡県立大学 経営情報学部 1 年生向け セミナー ※完了

7/11 静岡大学 グローバル共創科学部 2 年生向け セミナー ※完了

8/6 静岡大学 情報学部(浜松キャンパス)向け セミナー ※完了

11/14 常葉大学向け セミナー (完了)

⇒約 100 名の学生が参加

セミナー後の意見交換で、実施方法についての議論があった。

常葉大学として、IT パスポートを取得すると奨励金 10,000 円があるとの話があった

⇒IPA 様より、「最近の企業は IT パスポート+情報セキュリティマネジメント試験 (SG)を受講する傾向がある」との話もあった

11/27 静岡英和学院大学 セミナー

11 月 27 日(水)16 時 10 分～17 時 40 分

開催概要

1部:職業人としての IT 活用事例紹介 IT パスポート取得
パネルディスカッション

2部:就職活動で失敗しない、デジタルの取り組み
OB・OG との交流会

⇒現在、応募は 1 桁台ではあるが、これを機に今後広めていきたい。

※静岡大学、常葉大学、静岡英和学院大学の IT 担当から教育コンテンツ提供の相談あり

※セミナー開催に留まらず各大学の授業の支援を検討中

■人財育成教育研修部会:花澤部会長

・静岡大学講座「Python 入門講座」(2 日間)

時期:12/24(火)～25(水)

-> 集客中

-> 参加者:6 名 ※募集継続(最少催行数 8 名)

-> 現在最少催行数に達してないが、その場合でも開講の確約を得ている

-> 11 月末に再度案内メール発信予定

・視察

日程:2月13日(木)PM~2月14日(金)

募集人数:10名ほど

視察場所:1日目…富士通 ⇒ 三菱電機 DX イノベーションセンター
2日目…渋谷 QWS ⇒ Panasonic ラボラトリー東京

※11/29(金)に静岡市経済局を訪問し、渋谷 QWS 視察の件を正式に依頼予定

※交通費は自己負担だが、宿泊費と会議室等施設借用料は協会が負担

・会員ニーズセミナー

-> テーマを検討中、生成 AI、サービス無人化

■ビジネスマッチング部会:山口部会長

・会員交流

・第2回 2024年10月22日 前回理事会終了後の時間帯 完了

・次世代リーダー交流会(人財育成教育研修部会連携)

テーマ、事業会社の集客方法などを現在検討中

RFPの件は若手には若干難しいため、今回はペンディングとして、次年度に持越す
若手にとって重くならない内容で交流会を再度検討して行く

開催日程:2025年2月末~3月初旬予定

(2)協議事項

- ① ・久保田理事長からの提案「SIIA 部会役割と協会方針」(理事会資料 1-1 及び 1-2 参照)

久保田理事長から、前回理事会における協議の結果を踏まえ、引き続き「SIIA 部会役割と協会方針」について議論を行った。

<以下、協議概要>

【部会名称の変更】

・部会名称は、もっと分かりやすい名称にしたいという意見があった。

・今回提案する名称は、人財育成教育研修部会は「教育研修部会」(ICTスキルだけでなく、ヒューマンスキルまで広げる)、ビジネスマッチング部会は「ビジネス交流部会」、人材開拓推進部会は「次世代育成部会」(「採用」は直接過ぎ

るため、「次の担い手を育成する」ことが各社の採用に繋がるという意味合いでの三案を考えてみた。

- ・今後各位の意見も求めて決めて行きたい。
- ・教育研修部会では、ICT、ヒューマンスキルを含めたスキルの習得の機会を作ることをテーマに、ビジネス交流会については、会員同士の相互交流の場を作り、産学官を繋いで行く場とする。次世代交流部会では、各社が採用に困っている、少ないパイを奪い合っている現状から、未開拓の分野に向けてICTの魅力を発信して、担い手を増やすことや静岡で働く場があることを知らせることに注力したらどうかと考える。

【予算】

- ・予算については、名目は明示しなくてはならないが、柔軟性を設けないとやりたいことができないということから柔軟性を設けたいと思っている。そこで、三部会には事業案に沿った名目を作って予算を立てていただきたい。ただ、流用を可能にするようにはしたい。

【各理事意見】

- ・部会名称案は、大変整理されている
- ・重複するところや漏れてしまうところもありそうなので、再度組み立てて行くことが必要
- ・例として、大学で Python を使ってデータ分析を学習している理系の学生はかなりいるが、それを活かして情報系の会社に就職するといった流れはない。
- ・SIIAと情報学部の共催で実施している Python 講座なども、今はあくまで会員企業の社員向けが中心になっているが、Python を使ってデータ分析を学習している学生に対して、もう一步協会に引き込んでいくようなことも、現状だとどちらの部会が担当するかといった視点が抜け落ちているように思える。
- ・必ずしもこのことを実施するということではないが、「選択と集中」という話があったように、我々が何に注力して行くべきかといことはもう一度整理する必要があると思う。
- ・静岡市からの補助金の意味合いも十分に理解して実施する必要もある。
- ・例えば、3年ITパスポート講座を実施したが、この3年間に県内でITパスポートの受験者が増えたのか、我々がそれに貢献できたのかということもある程度整理しなくてはならないと思い、IPA にそれに関するデータ提供を依頼したところである。
- ・このような事業により「裾野を広げる」ことが必ずしも各社の採用には結びつかないが、静岡市の補助金に対しては十分に貢献できると思う。

・ただ各社の採用に充分貢献できないとすると、協会あるいは部会としての軸足も一本化できない点はモヤモヤしたものがある。

・若い人たちの会社選び、仕事選びの様子を見ると、どんな会社なのか、どういう環境にあるかといったときに、社会貢献的な意味合いとか社員の魅力みたいなものが外に開いている感じという点が、風通しのよさや閉塞感の無いイメージを持つような感じがある。

・そういうときに、協会の活動を通じて各企業の社員の皆さんが社会貢献活動やもう少し各社における自身の役割以外の活動が各社の成果に繋がるようにしてもらうため、「副業的」な舞台として協会を活用してもらってもいいかと考えている。

・各社の中堅、若手社員がこの協会の活動することを通じてそれが社会貢献に繋がり、結果として輝いている社員の姿を見た若い人たちに開かれた会社と評価してもらい、といった構図に繋がって行くという仮説もあり、各社の採用に繋げることへの理解度をもっと図りたいと思っている。

・確かに、部会の重複や切り分けについては再考を要すると思う。

・効果の測定をしっかりとできないとその次に繋がらないと思うが、効果を測定することが部会メンバーにプレッシャーを与えるのではないかという点が気になる。

・静岡市の補助金に対して期待することは、現在の事業内容から外れていないか？という問いに対して、市としての見解は、「学生に対する講座の受講した人数や開講回数は把握しやすいが、交流会のような場合は成果として上げづらいものがある。そこで SIIA が掲げている『ICT 人材の育成に注力している』といったことに評価に眼を向けて予算を付けているところはあるが、補助金を出す期間（年数）が長くなれば求められる成果の基準も厳しくなる。」との回答があった。

・交流のような内容評価は数値化が難しいが効果はあると思っており、マンネリ化を避けつつ「ビジネス交流部会」で考えている次世代交流会のように、交流の在り方自体を見直している。

・交流だけでは成果は上がらないが、交流の結果、静岡に留まってくれる学生が増えれば、成果として市も認めるのではないか？ただし、その判定は難しい。

・現在考えられることに、地域課題の論点で地域課題解決がホットな話題になっており、スタートアップを呼び込んで、それにより地域課題を解決することで成果を表すというような事例がある。

・「スタートアップの成果を測地する手法はあるか？」の問いに対して、「KPI に

よる評価・分析」をするのが良いのではないか。協会独自の KPI を持つことが良いのではないか」との提案があった。

・「部会の名称については提案通りが良いと思うが、部会や部会を含む議論によって決めて行くのか？」という質問に対しては、「3 月の拡大運営委員会で良いと思うが、部会長の中にもいろいろ課題意識や考えがあるので、拡大委員会を待たず、部会長を交えた少人数の議論も必要ではないかとの意見も踏まえ、事前に話し合いの場を設けるようにする。」

・「その場では、押しつけではなく、原点に戻って自らやりたいと思うことを出してもらい、協会の求めることと市の求めるところがずれていないかを理事会で精査して結論を出すようにしたいと思う。」

・1 月理事会には、部会長にも参加して頂くようにしたい。

・主体は部会、運営委員会と思うので、正副部会長や運営委員長の意見も含んだ話し合いを望む。

以上、久保田理事長から、今回の意見をまとめたうえで近日中に提案を理事各位に提示する旨の発言があり、今回の協議を終了した。

(3) 連絡事項

次回理事会:2024 年 12 月 17 日(火) 16:00~17:00

静岡商工会議所 401 号室(ハイブリッド会議)

3. 閉会

鈴木副理事長から閉会の挨拶の後に閉会した。

*お詫び:

今回オンライン会議に Zoom を使用する予定が、契約上の問題から接続できず、急遽 Webex に切り替えました。その際に、オンライン参加を予定されていた一部の方に差し替え用の URL の送信ができておらず、会議に参加頂くことが出来ない事態が生じたこととお詫び致します。

4. 議事録署名

議 長 久保田 光二 ⑩

議事録署名人 山本 隆秀 ⑩

議事録署名人 宇賀田 栄次 ⑩

2024 年 11 月 26 日

Re: 【SIIA 理事会】「議事録」の確認及び署名のお願い

From:山本 隆秀(yamamoto takahide.scs) <yamamoto.takahide@jp.shizugin.com>

Date:2024/11/29 12:41

【議事録承認】

令和 6(2024)年度 7 回理事会議事録の記載内容は議事と相違ないものと承認致します。

令和 6 年 11 月 29 日

理事氏名:山本隆秀

RE: 【SIIA 理事会】「議事録」の確認及び署名のお願い

From:宇賀田栄次 <ugata.eiji@shizuoka.ac.jp>

Date:2024/11/29 13:45

【議事録承認】

令和 6(2024)年度 7 回理事会議事録の記載内容は議事と相違ないものと承認致します。

令和 6 年 11 月 29 日

理事氏名:宇賀田栄次